生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	Dual-energy CT を用いた副鼻腔病変の画像特性解析および鼻中隔軟骨描出能の検討に関する後ろ向き研究		
1.研究の目的と方法	本研究では、副鼻腔の病気に対して撮影された CT 画像を用いて、新しい画像解析方法の有用性を調べます。副鼻腔の病気の診断には通常 CT 検査が行われますが、病変の性質（真菌のかたまりなど）や腫瘍の付着している場所、鼻の中の軟骨などの構造を詳しく評価するには、追加で MRI 検査が必要となることがあります。Dual-energy CT（DECT）という撮影方法では、通常の CT 画像に加えて、病変の成分の違いを示す特別な画像（カラー表示など）を作ることができます。本研究では、過去に撮影された DECT 画像を用いて、副鼻腔の病変がどのように写るかを調べるとともに、鼻中隔の軟骨がどの程度反映できるかを評価します。上記をカルテの情報を収集し、評価・検討を行います。		
2.研究期間	倫理委員会承認日～2028 年 12 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。		
3.対象となる方等	2025/8/1～2026/9/30 に東京慈恵会医科大学附属病院で副鼻腔病変が疑われ、Dual-energy CT を施行した症例、また手術および病理診断により確定診断が得られている症例で、18 歳以上の症例。		
4.研究に利用する試料・情報について	(1)試料の種類	試料は使用しません。	
	(2)試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3)情報の種類	年齢、性別、疾患名、手術名、CT 画像、MRI 画像、病理結果	
	(4)情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5.研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1)当施設の研究責任者または研究代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学　耳鼻咽喉科講座
		氏名	由井　亮輔
	(2)当施設の長	東京慈恵会医科大学　学長　松藤千弥	
	(3)当施設の試料・情報の管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
	(4)共同で研究を実施する施設とその責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	

6.試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2026 年 4 月頃～
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学　耳鼻咽喉科講座 研究責任者：助教　由井　亮輔　（ゆい　りょうすけ） 窓口担当者：助教　由井　亮輔　（ゆい　りょうすけ） 電話番号：03-3433-1111（内線 3931） 対応時間：平日 09：00　～　17：00

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。